

1 この科目の構成について

教 科	国語科	科 目	古典B	単 位	2単位
対象コース	美術コース	対象クラス	3年8・9組		
使用教科書	精選 古典B（大修館書店）				
使用副教材	3ステップオリジナル問題集 基礎古典（尚文出版） 完全傍訳 やさしくくわしい古典文法（尚文出版） 新明説漢文（尚文出版） 重要古文単語315（桐原書店）				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
2年次から引き続き、既習の文語文法・句法を使いこなして、古文・漢文を講読する能力を養います。2年次に学習した教材よりも、長く、難解な文章も講読します。センター試験などの大学入試にも対応できる読解力を養っていくことが目的です。	
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
以下の二つの分野を学びます。 （1）古文…既習の文語文法を使って、古文を読み解く力を身につけます。さらに、読解に必要な語彙力を身に付けます。 （2）漢文…既習の句法を使って、漢文を読み解く力を身につけます。さらに、読解に必要な語彙力を身に付けます。	
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
（1）学校 授業においては「読解力」を身につけることが最も大切です。文章の内容を読み取り、思考し、筆者が伝えなかったことやその当時の社会的背景までの読み取りをします。 （2）家庭 家庭学習の時間は、一学期は授業の予習と既習事項の暗記と語彙力の養成にあててください。知識を定着させる場、それが家庭学習です。二学期以降はそれに加えて、問題演習の復習をしてください。	

3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何を使って評価するのか—
（1）定期考査→年4回、定期考査を実施します。授業での学習内容を中心に出題します。 （2）長期休暇中の課題→古典・漢文の演習問題を宿題として課します。 （3）学期中の課題→授業理解の確認のための宿題を課します	
評価における定期考査の割合	
70%	

4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
（1） 関心・意欲・態度 問題を解決しようとする意欲、つまり考えようとする態度を重視します。	
（2） 思考・判断 合理的であるか否かが評価の軸となります。恣意的な思考は評価しません。	
（3） 技能・表現 口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。	
（4） 知識・理解 定着度だけではなく、知識を得ようとする日常の取り組みを評価します。	

年間学習計画				—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—				重視する評価の観点			
期	月	学 習 の 項 目	学 習 の 内 容		関	思	技	知			
1	4	枕草子 『うれしきもの』	わが国古来の随筆文学に触れ、その魅力を味わいます。語句・意味を正確に理解し、作者の機知に富んだ発想や柔軟な思考の展開の様子を鑑賞します。また、方丈記においては和漢混交の簡易な文体を読解し、作者の無常観を理解し、隠者文学の生まれる背景、隠者長明の生活についても理解を深め、生徒の人生観を豊かにしていく契機とします。 道德教育を実施		●	●	●	●			
	5										
	6	逸話と寓話 『不死之薬』	漢文の逸話や寓話に見られる機知に富んだやりとりを学び、その魅力を理解します。また発言や行為の内容を読み取り、その生き方や考え方を理解し、自らのものの見方、考え方を深める契機とします。 道德教育を実施		●	●	●	●			
2	7										
	8	源氏物語 『若菜上』	平安時代の仮名文学の代表的作品である源氏物語に触れ、読解・鑑賞する読力の増進を目指します。複雑な文体の文章を、語句の意味や文法事項を正確につかみながら正しく読解します。場面の状況や人物の心理を正確に捉え、微妙な心理の動きを理解します。		●	●	●	●			
	9	文章 『帰去来辞』 『師説』	中国の文学作品に親しみその文学的な表現を理解します。漢文特有の言い回し句形に習熟し、正確に読解する態度を養います。また、作者の思想や人生に対する深い洞察を読み取り、その人生観や人間性についても理解を深めます。 道德教育を実施		●	●	●	●			
	10	入試対策問題演習									
	11		副教材を用いた演習を行い、入試に対応できる読解力の完成を目指します。ただの答え合わせになることのないよう、予習、復習を徹底し、解答作成までの手順を身につけます。		●	●	●	●			
3	12										
	1										